



出雲人の定番といえば……

### 『献上そば 羽根屋』の割子そば

出雲そばは、そばの実の皮と一緒に挽き込むため藪系そばより黒いのと、割子に入っているのが特徴。地元でも人気の『羽根屋』は、庭が美しい伝承館店がおすすめ。島根県出雲市浜町520 ☎0853・25・0312 11:00~16:30 (LO16:00) ㊿月曜 割子そば3段¥660



あらゆる縁を結ぶ

### 『出雲大社』の縁むすびの糸

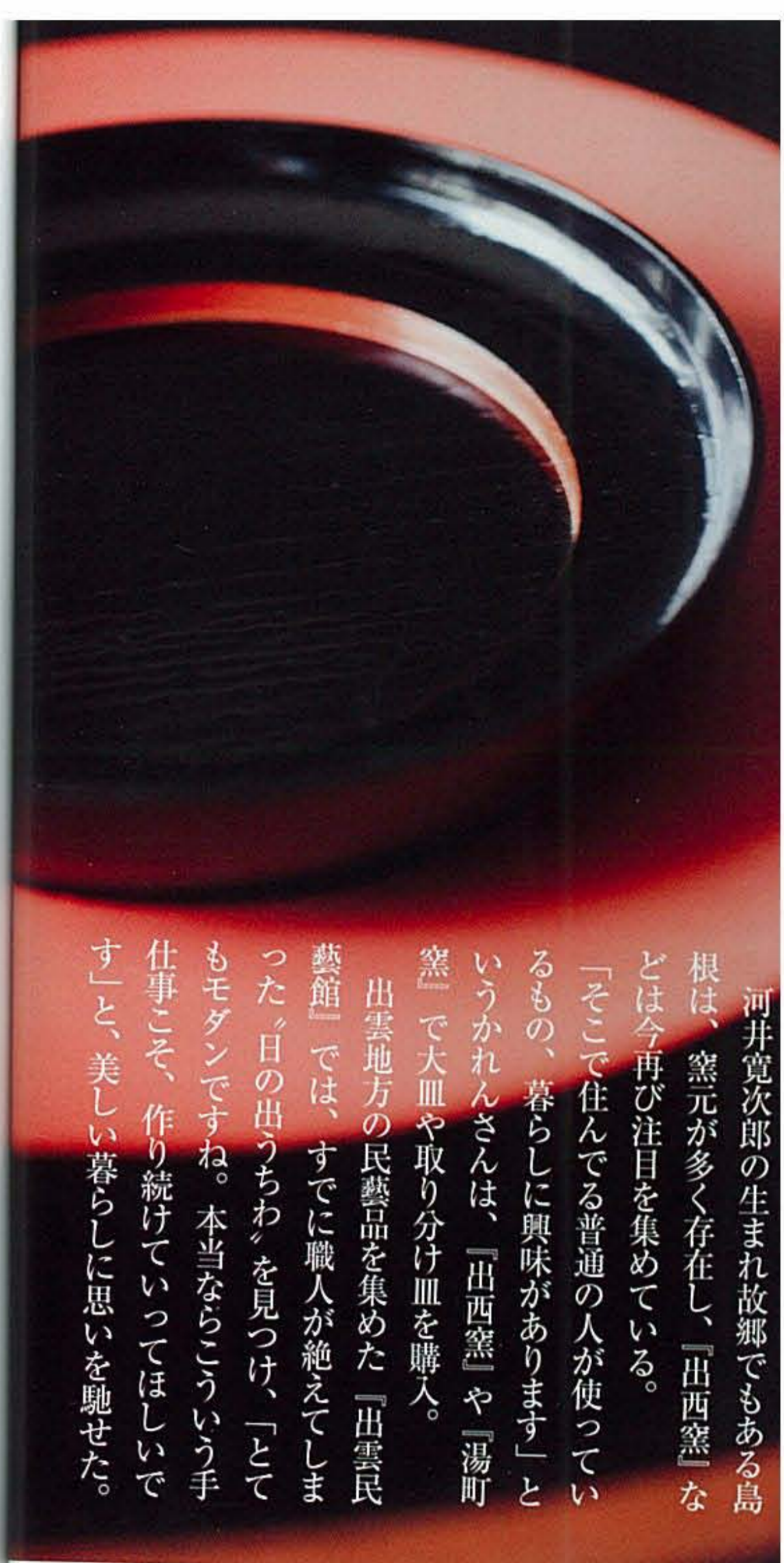
だいこく様で知られる大国主神は、男女の縁にかかわらず縁結びにまつわる神様。多くあるお守りの中でも特に人気が高いのが、紅白の糸が入ったこちら。よく着る服に縫いつけたり、持ち物に結んだりしても。境内で購入可能。縁むすびの糸¥800 出雲大社のデータはP.37を参照



松江宍道湖畔 文人ゆかりの宿

### 『皆美館』の鯛めし

松江屈指の宿『皆美館』でしか味わえない、不味公ゆかりの逸品。ゆでてそばろにした鯛、卵の黄身、白身、おろし大根、ねぎ、のり、わさびに秘伝のだしをたっぷりかける、ごはんの味は格別。宿泊者以外でも『庭園茶寮みな美』にて味わえる。島根県松江市末次本町14 ☎0852・21・5131 鯛めし御膳¥2,310~



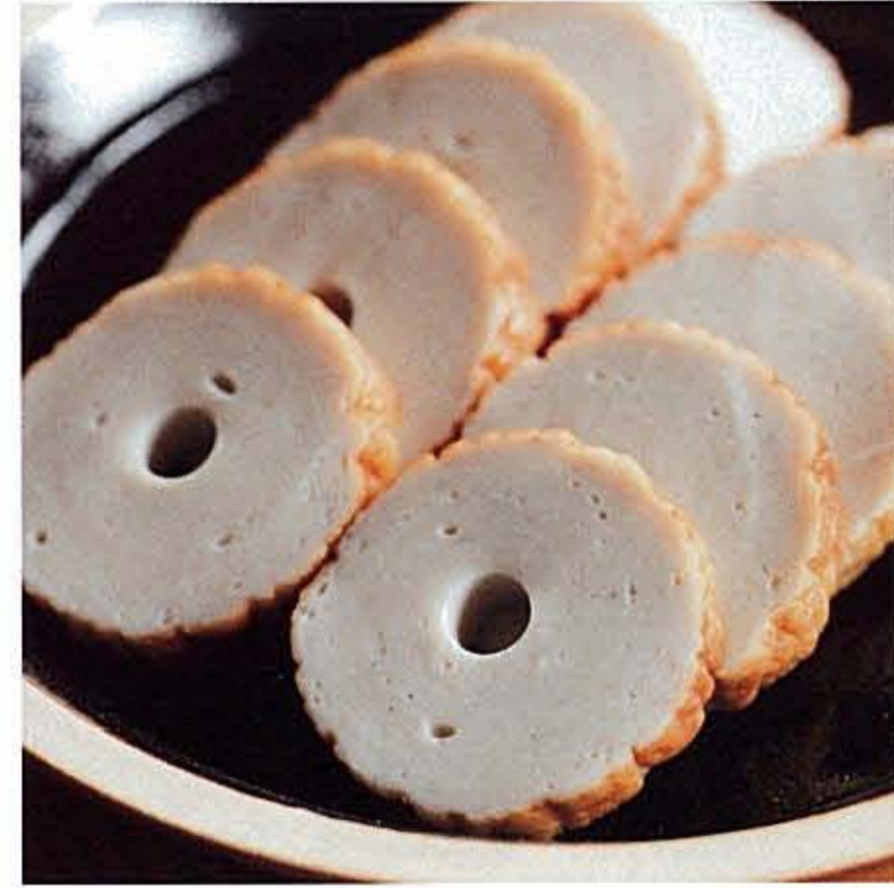
河井寛次郎の生まれ故郷でもある島根は、窯元が多く存在し、『出西窯』などは今再び注目を集めている。「そこで住んでる普通の人が使っているもの、暮らした興味がありません」というかれんさんは、『出西窯』や『湯町窯』で大皿や取り分け皿を購入。出雲地方の民藝品を集めた『出雲民藝館』では、すでに職人が絶えてしまった、日の出うちわを見つけた、「とてもモダンですね。本当ならこういう手仕事こそ、作り続けていってほしいです」と、美しい暮らしに思いを馳せた。

かれんさんの



### 手のひらサイズのかわいいおみくじ 日御碕神社のだるま

キリッとした口もとのだるまの中に、おみくじが入った珍しいひとつ。手描きのため、表情がひとつひとつ微妙に異なり、選ぶのも楽しい。おみくじを取り出したら、置き物として飾っておきたいかわいさ。1個¥300 日御碕神社のデータはP.38を参照



### 地元の食卓に必ずある“出雲のはしま” 『長岡屋茂助』のあご野焼き

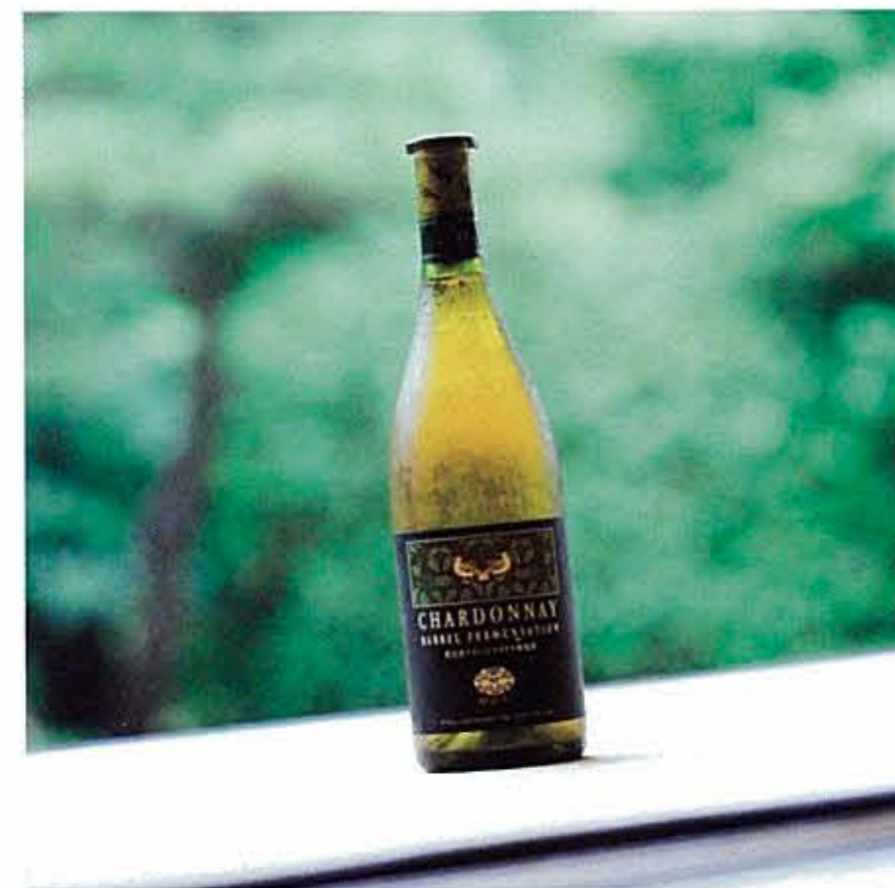
「あごが落ちるほどうまい」と山陰では飛魚のことを“あご”と呼び、そのすり身を地酒と混ぜ合わせ焼き上げたものが、こちら。5~8月が旬で、お酒のつまみにも最高。島根県松江市北堀町219の1 ☎0852・24・5577 8:30~17:00 ジャンボあご野焼き(小)¥1,260



香り高い、カジュアル茶

### 『茶三代一 本店 微笑庵』のはま茶

普通の番茶より香りが格段によい、高原茶。味わいも自然な甘味があり、出雲地方では古くから健康茶として親しまれている。夏には冷やすとすっきりとしたのどごし。島根県出雲市塩冶町海上1515の7 ☎0853・21・3461 9:30~18:00 ㊿日曜・祝日 50g入り¥315



和食とも合う地酒ワイン

### 『奥出雲葡萄園』のワイン

食どころとして知られる奥出雲にあるワイナリー。リリース直後に売切れるものも多く、特に「シャルドネ」「小公子」などが評判が高い。親会社『木次乳業』のチーズもおすすめ。出雲縁結び空港でも一部取り扱いあり。島根県雲南市木次町寺領2273の1 ☎0854・42・3480



島根県随一の民藝の窯元

### 『出西窯』の暮らしの器

斐川平野に登り窯とギャラリーをゆったりと構える『出西窯』。「実用の器づくり」をモットーに作られる、シンプルで丈夫な美しい器は、地元で根ざしているのもろろのこと、県外でも人気。「無自性館」島根県出雲市斐川町出西3368 ☎0853・72・0239 9:30~18:00 ㊿火曜 出西窯を代表する呉須釉が美しい尺三寸皿¥31,500



### 豪農山本家屋敷に集まる 出雲民藝館

「民藝館は、昔を懐かしむだけでなく、私たちの暮らしを美しく養うための根城」との考え。もの、かごなど、島根の昔ながら島根県出雲市知井宮町628 9:00~17:00 (16:30までに)



### スリッパウエアや釉薬に 湯町窯

ガレナ釉の黄色やスリッパがけられる大小の器がいろいろ。氏の温かい人柄が、そのまま熟卵ができるエッグパーカー江市玉湯町湯町965の1 ☎00~17:00 (土・日曜・祝日は)



### シンプルでモダンな漆器 いしむら塗物工房

出雲地方は八雲塗が有名だが画したオリジナルの漆器を製け続けている。樺の木目を生布を張り塗ったものなど、ふるえるものが多い。分厚い木地。島根県松江市殿町318 1